



平成26年2月15日

群馬県立
太田工業高等学校
同窓会
0276(45)4742

同窓会事務局

同窓会報第三十四号 発行にあたり

同窓会会長 大関 貞夫 (1E)



同窓会会員の皆様方、母校卒業後は如何お過ごしでしょうか？三十四号の会報が会員の皆様方の

手元に届く頃には、母校は卒業式の準備や入学試験の準備等々に、職員の先生方が忙しくなる時期であります。昔を懐かしく、思い出される会員の方も居るのではないかと感じます。又、卒業式も五十回を超え、卒業生は一二〇〇名弱となりました。最近では会員の方々が、目覚ましく活躍をしております。時々マスコミ等に取り上げられて、ただの方々が、多数現れてまいりました。例を挙げますとソチ五輪のショートスケート代表選手に選ばれる予定となっており、第四十四期生の坂爪氏や在校生におかれましては、県大会において優秀な成績を収めた山岳部・相撲同好会・陸上部・野球部等々のクラブが、活躍をして上部大会等に出場

しております。このように母校の後輩が、活躍している状況ですので会員の皆様方に、お願いがございます。

同窓会も結成して半世紀が経過いたしました。支部の組織率が弱く感じられております。是非、地域におかれまして懇親会や情報交換会等でもよろしいですから、支部組織の確立にご尽力を頂き、母校の発展に少しでも寄与できるように同窓会の組織にしてください。紙面をお借りしてお願いいたします。又会員の皆様方には健康管理に十二分に注意をし、ご健勝にて地域や職場においてご活躍されることを、御祈念いたします。

人間万事塞翁が馬

校長 中野 勇治



同窓会の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと拝察いたします。

また、平素は本校の教育活動にご理解、ご支援を賜り、心から厚くお

礼申し上げます。
さて、本年度も生徒は部活動や各種コンクール、資格取得に熱心に取り組み、また、進路等にも多くの実績を残すことができました。

秋の大会で、野球部が全国優勝を果たした前橋育英高校を破る大金星を掴んだことは記憶に新しいことですが、その他の部活動も関東大会出場や県ベスト8、16に駒を進めています。なお、詳細については、その都度本校のホームページに掲載しておりますのでこちらに譲るとして、本校生徒と指導教師の地道な取り組みが、実を結びつつあるのを実感しています。

遅れましたが、三年前に館林商工高校から赴任して参りました。とは言え、この太田工業高校では教員生活の約半分の十二年間お世話になりました。三十三という中年にさしかかった時期に、内ヶ島にあった旧校舎に新任教員として赴任し、二年後、現在の新校舎に引っ越ししました。移転では、クラスの生徒に机と椅子を柔道着の帯で背負わせ、この校舎まで運んだことが、昨日のように思い出されます。

九年前には教頭として本校に赴任し、そして、三年の時を経て再び校長として赴任するという、希有な経験を経させていただきました。

この校舎に移転して二十五年、校舎は変わりませんが、生徒は赴任当時の乱暴だが元氣と知力が溢れていた時代

から、やや覇気に欠けますが、明るく素直である生徒が主流になっていくように思われます。また、生徒の変化に呼応するように、保護者や地域の方々の評価も変わり、親近感を持って受け入れてくれるようにも感じていますし、教員の最後を本校で迎えられたことを嬉しくも思っています。

ところで、景気が良くなりつつあるところ、本年度の就職状況を見ますと、「優秀な生徒ならば採用するが・・・」と厳しさは変わらないように思えます。必ずしも、希望した企業に就職できなくても、「人間万事塞翁が馬」の例え通り、将来の禍福は見通すことができません。そして、渡辺和子の「置かれた場所で咲きなさい」の言葉にもあるように、生徒には、どんな仕事でも、前向きに考え、行動して欲しい、そして、困難を打ち破る気概と努力を、そしてチャンスを生かすための十分な準備をして欲しいと思っております。

終わりに、本校が東毛のみならず、県下にそして、全国にその名が知られる学校となるよう、職員と力を合わせ、奮起するつもりですので、同窓会の牽引役を引き受けていただいている大関会長をはじめとする役員の方々、同窓会員の皆様、これまで以上のご支援と御協力をお願い申し上げます。

明るく築く新世代

教頭 栗原 忠



同窓会会員の皆様には、母校発展のため、平素より格別のご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。また、この度は同窓会報第三十四号の発行、心よりお祝い申し上げます。さて、太田工業高等学校は昭和三十七年の創立から半世紀が過ぎて、時代と共にその歴史と伝統の継承が求められています。今年度赴任した私も「その職責を担うべし」と肝に銘じております。

創立当初、仮校舎から始まった金山時代、続く新校舎（教室棟と実習棟だけ）で、校庭の整地は遅れに遅れて、「草茫茫で石拾いの連続」の内ヶ島時代。

創立二十周年では、音楽室と視聴覚教室が完成、図書館竣工の落成式典は盛大だったとか。（同窓会報十五号より）

内ヶ島から市内茂木に移動した茂木時代、柔道着の帯で机と椅子を縛って生徒が新校舎に運び込んだと、当時をご存じの中野校長から伺っています。

三角屋根の体育館、硬式野球部の甲子園出場など、さまざまな若者たちを校舎が飲み込み、今では約一万二〇〇〇名の卒業生を輩出しています。

昨年秋、理科室（茂木校舎三階）で、内ヶ島校舎から茂木校舎へ引越しの際に使用された段ボール箱が棚に三つ四つ置かれていました。中身は三角フラスコ等の実験器具で包みに使われた当時の（茶色い）新聞も一緒に見つかりました。

せつかくでするので、いくつか記事をご紹介します。

（昭和六十一年（一九八六年）五月二十九日（木）上毛新聞）

○北陸新幹線の建設計画で県内ルートの変更により「新安中駅」が決定。

○北陸新幹線の金沢駅開業：二〇一五年（平成二十七年）春の予定である。

○中曽根首相は衆参同時選挙を七月六日に実施し、自民党の安定多数となる「二百七十一議席」を確保し、「安定政権の確保目指す」を言明した。第二次中曽根内閣が誕生し、戦後四番目に長い在位期間へ：一八〇六日間

○「植村直己物語」（佐藤純弥監督）は、五大陸最高峰登頂、グリーンランド犬ぞり縦断など数々の偉業を残して、一昨年アラスカ・マッキンリーで消息を耐えた冒険家・植村直己の足跡を西田敏行主演でたどる。その他、人気テレビ番組、「必殺仕事人」シリーズや、つかこうへいの代表的戯曲「熱海殺人事件」（仲代達矢・志穂美悦子・風間杜夫ほか）が映画化。

平成元年四月、新米教師として赴任し、その当時諸先輩の先生方から甲子園出場や引越しの苦労話を伺ったことを記憶しています。そして、四半世紀が過ぎた今、再び教頭として大関同窓会長をはじめ皆様方のお世話になります。内ヶ島時代を知らない私に、「石拾いは三期生まで」をはじめ、多くの内ヶ島のお話をお聞かせください。どうぞよろしくお願いいたします。

太田工業高校に赴任して

事務長 田口 薫

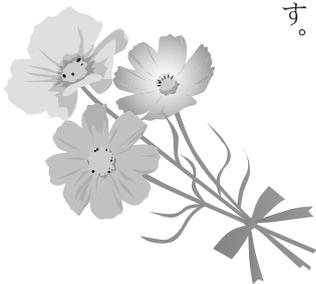
こうして事務長という立場で原稿を書くことになるとは、夢にも思いませんでした。内示の日に「太田工業高校です。事務長です。」と告げられ「私でいいのでしょうか。」という気持ちでいっばいそのまま、前事務長からの引き継ぎを受けに学校に向かいました。入る道の間違って、ぐるっと一周してしまい、あらためて「この広さは何？こんなに校舎大きいのか？大丈夫？」と帰りたくなったのを覚えています。不安に押し潰されそうになりながら、四月一日に赴任したところ、事務室の方々はもとより先生方も親切で、すれ違う生徒達から元気にあいさつをもらい、料理研究部の生徒達が作ったお菓子をもらい、かなり平静に戻って「なるようになる。やるしかない。」と思

い直すことができ、今日に至っております。

平成二十二年度に五十周年事業を終えて、同窓会からはワゴン車の寄贈や普通教室床研磨作業など様々な協力をいただき、大変お世話になりました。校舎移転から二十五年が経過し、屋上の防水シートの補修をはじめ施設設備の改修が大きな課題となっています。予算が厳しい中ですが、一つずつでもクリアして、授業、課外活動や資格取得が支障なく行えるように環境を整え、卒業生が大きく羽ばたいていけるお手伝いをしたいと思います。

外部にむけての活動は、太工フェアや地区の公民館まつりへの参加等、子供達に「ものづくり」の楽しさ、素晴らしさを十分伝えられていると思います。部活動も活発に行われており、頑張っている生徒達を応援したいと思えます。ここで勤務することができてよかったと感じる毎日です。

まだまだ助けていただくことばかりですが、伝統ある太田工業高校の発展のために、微力ながらもお力添えできれば幸いです。



記念講演報告

参事 浦野 宗久 (2M)



平成二十四年度の
開校記念式典で講演
することになり、
「私が歩んできた人
生・前向きに生き
る」という題で、お

話しをさせて頂きました。私は、卒業後、富士重工業に入社し現場も経験しましたが、生産技術部門で仕事をしました。そして、最初に任された車の立ち上げで開発成果が認められ、課長表彰を頂きました。また、生産ラインのレイアウト設計と立ち上げでは、先の課長さんから、為せば成る、為さねば成らぬ何事も、成らぬは人の為さるなりけり(上杉 鷹山)の言葉を引用した、頭を使えば何でも出来る、嘘だと思ふなら使ってみようと叱咤激励を頂き、今でも有難く記憶しています。また、ブレーキ液真空充填装置の開発では、科学技術長官賞を受賞すると共に環太平洋自動車会議に出席し、開発成果について英語でプレゼンテーションを行いました。英語が得意でもなく、英語の勉強をすると共に為せば成ると言う事で発表を行った。私も海外で仕事をした経験があり、これからは、グローバル化・産業空洞化の影響により、海外で働く事が多くなると考えられますので、知識・技能の向上と合わせて

英語の勉強が必要であると考えます。そして、仕事をする上で、現場主義・現場・現実・現物・原理・原則・見える化、データで実行すると共に、常に疑問を持ち何事にも挑戦する事により、道は開かれると考えます。また、全ての仕事を進める上で、5S(整理・整頓・清潔・清掃・躰)とあいさつは、基本であると思います。私は、色々な仕事をして来ましたが、仕事をする上で、人は選べないし、仕事も選べない、目の前の仕事に前向きに積極的に取り組み結果を出す事により、信頼が得られると思います。と言う内容でお話をさせて頂きました。目的を持ち、夢を描き実現に向けて全ての事に前向きに取り組んで行って頂きたいと思えます。最後になりますが、太田工業高校のご発展と同窓会各位のご健勝とご多幸を祈念して報告とさせて頂きます。

休泊支部結成に向けて

長谷川 和男 (1E)

早いもので、卒業してから五十年近くになるうとしています。話によると、会員総数は一万二〇〇〇名との事で、休泊地区在住の卒業生も相当数に上ると思えます。

前回の(1EB)クラス会のおり、大関会長より、今度の同窓会総会に出てくれないかとの誘いが有り、卒業以来初

の参加となりました。それと前後して、休泊支部結成願いの話があり、現在ゆるやかに進行している次第です。近いうちに休泊支部結成の総会が開けると思えます。その時は休泊地区在住の同窓生の多数参加を願っています。現在の休泊支部の動きとしては、同窓会副会長の中村さん、そして会長の子息である大関さん、小林さんと他、数名の方の力をかりて準備しておりますので、多数の皆様のご意見、ご指導をお待ちしております。

話ばかりですが、私は現在仕事の一線を退き二年が経ちました。今は一年の四分の一程をいままでの仕事のアルバイトをやっていますが、残りの時間はというと、おおむね趣味についている様に思います。在学中からの趣味として、ハムとオーデオファイル(クラシックとジャズを聞く事)そして十五年以前のそば打ちです。

現在は、ハムは下火ですが、音楽を聞く事と、そばを打って家族に振るまっています。またドライブに行った先でそばを食べるのもいいですね!栃木・福島・長野方面と。ただ、そばつゆのいまいち?と思える店に入るとがっかりですが。

話をもどします。休泊支部の早期結成に向けて努力していくつもりですが、より多くの会員の皆様のご協力とご支援頂きたく思います。よろしくお願いたします。

ホームページURL
<http://www.takou-ob.jp>

メールアドレス
m-charge@takou-ob.jp



「記念講演報告」

遠藤 重吉 (2M)



開校から五十二年
経過した開校記念日
の講師として母校を
訪れる機会を頂きま
した。

私としては身に余る光栄でありまし
た。講師を引き受けてからどんな事を
話したらいいのか悩みに悩んでおりま
したが、自分が今まで生きてきた事を
話すこと以外思い浮かばず「私の生き
方、信条」ということで話すことにし
ました。講師を引き受ける前までは自
分の生き方、信条について改めて考
えてみたこともなく私にとっても自分
の生きてきた道を検証するいい経験を
させていただきました。まず人生の究
極の目的、幸せとはという事柄を自問
自答し、後輩の皆さんにどう正しく伝
えられるか考えてみました。そして、
国民の三大義務である「教育」「勤
労」「納税」を果たしてから人生の究
極の目的をめざして欲しいということ
をお願いしました。私としては実践の
中で得た経験を披露したまでで参考にな
ったかどうか今でも疑問に思ってい
ます。信条についても然りです。私が
今まで出会った人の教訓、教えを源に
結果的に私の信条になったのです。後
輩の皆様に訴えたのは「常に謙虚であ

れ」「常に最善を尽くす」「誰とも
平等であれ」「特技、特長を持つ」こ
の四点です。私が今まで生きてきた中
で心掛けたことであります。私自身も
人生の究極の目的を達成したとは思っ
ていませんが、後輩の皆様にくらか
だけでも汲みとっていただき是非とも
人生の究極の目的を達成していただき
たいと思っています。講演中、若干夢
心地の生徒も居られましたが、つたな
い講演を最後まで清聴していただき感
謝しております。結びに後輩の皆様
方の栄光ある未来と、校長先生をはじ
め関係者の皆様のご健勝と太田工業高
校の益々の発展を祈念致しまして講演
の報告とさせていただきます。

「平成二十五年 同窓会総会報告」

(有)万徳 代表取締役
鈴木 信昭 (13M)



毎年恒例の同窓会
がホテルパインヒル
で開催された。毎年
参加されている方や
初めての方、本部署
員としてご尽力頂いている方など緊張
した雰囲気の中、原案どおり可決承認
され、一番の目的である懇親会の席へ
と移行した。
一人一人が自己紹介を兼ねて近況報

告をしましたが、何れの皆さんも母校
太田工業での思い出を大切にしている
と感じました。もうすでに定年を迎え
られている方も多く、第二の人生をゆ
ったりと過ごされている方、畑仕事に
趣味の領域を越えて燃えていたり人
生を謳歌している強者どもの集まりと
いう感じがしました。

私は在学中、卓球部に所属していま
した。三角の銀屋根に特徴のある体育
館。狭くて男臭い部室が並んでいたこ
とが懐かしく思い出されます。部活が
終わると学校の前にあるお店でカツプ
ヌードルを食べていたこともふと蘇り
ます。

卒業生のみなさん。ぜひとも二十六
年度の同窓会に参加してください。同
窓会日程はホームページにも紹介され
ます。今年度は七月六日の土曜日でし
たので、次回も同じような時期に行わ
れると思います。

どんなにスマホで情報を得ても物は
つくれません。「ものを造る」という
原点を学ぶのが太田工業高校の大きな
柱です。

「掛甲武人埴輪」をご存知でしょう
か？埴輪としては唯一国宝となってい
ます。この埴輪は太田市の飯塚から出
土したもので、現在は国立博物館に収
蔵されています。

数年前に群馬県立博物館で本物を見
ましたが、その巧みな技術は他の埴輪
とは大きく違い、技術や美術性に高い

ものだと感銘しました。

このもの造りのDNAは出土した太
田の地に受け継がれ、中島飛行機、そ
してその流れを引き継いだ自動車や電
化製品へと繋がっております。そして
この流れを未来へと継承する場が太田
工業ではないでしょうか。

ぜひとも、母校、太田工業高校発展
のためにも同窓会総会に参加賜ります
ようお願いし結びとします。

ホテルパインヒル太田で坂爪亮介
選手(四十四期電子機械科)ソチ五輪
スピードショートトラック出場の壮行
会を行いました。

祝 ソチオリンピック出場!!

坂爪亮介選手
(四十四期電子機械科)



違和感

中澤 紀夫(16M)



私は現在、縁あって本校にお世話になっている。母校である。しかし、何故か違和感がある。どうしてだろう。

現在の太工は、太田市茂木町である。私に通っていた当時は太田市内ヶ島、現在のぐんま国際アカデミーの場所が私の学舎の地であった。そこに、正門を入って右手に三角屋根の体育館、ちよつと手狭なグラウンド。そして一番奥に作業着で過ごした実習棟があり思い出がある。卒業して三十年以上経つが鮮明に覚えている。ところが、現在勤務している母校について考えたとき「ここが本当に母校？」という感じである。私の記憶の中にある母校はあの場所のあの校舎なのである。新校舎から巣立っていった後輩の皆様には申し訳ないが、それが正直な気持ちである。母校も五十年が過ぎ、卒業生は一万二千名を数え、新しい地に移転して四半世紀。もう新校舎、旧校舎などと言っている時期は過ぎていると思うのだが・・・。

感をかけると申し訳ないのでさらっとだけ触れてみると、実習棟で行っていた授業は、怪我に気をつけて課題を終わらせれば、残りの時間は思い思いに過ごすことができた。教室での授業は、科目によっては教科書が何ページ進んだであろうか。部活動の山岳部では、自分たちで計画を練って、苦しかったが楽しい山行をする事ができた。等々、自分たちで考えなければならぬ日常が多々あり、お陰で知恵がついた。

同窓会総会に出席して

機械科教諭 茂木 達也

あの時代の太工は、先生方にも生徒達にもゆとりがあったような気がする。多感な時期をあの場所、あの校舎で過ごせた事は、私にとって忘れられない三年間であり、愉快な思い出である。

出来ました。数多く聞いた話の中で、印象に残っているのは、太田工業高等学校の移転の話です。太田工業高等学校は、私が子供の頃から現在の場所に学校があったため、移転のことは知りませんでした。詳しく聞いてみると、とても興味深いことが分かりました。本校の移転は、平成元年であり、私の生まれが昭和六十三年であるため、ほとんど同じ年齢だったのです。初任の年に自分と同じくらいの時を刻んでいる学校に赴任するのは、なにか運命的なものを感じました。その話以外にも、これまでの生徒の特長や学校の出来事など様々なことを聞くことができ、大関会長をはじめとした同窓会の方々は、とても素晴らしい方が多いと感じました。

後になりましたが、太田工業高等学校同窓会の更なる発展とご活躍を祈念いたします。

一期会・クラス会を開きませんか？

たのしい、うれしい、なつかしい思い出
あの人はお元気かしら・・・

いつでもご相談ください



同窓会事務局

幹事様の面倒な準備作業
すべて代行いたします

TEL 0120-10-9870
FAX 0120-15-3460



同窓会収支について

同窓会計 工藤 孝俊 (13C)



同窓会員の皆様、いつもお世話になっております。同窓会本部で会計を務めさせていたただいております。

まず、十三期工業化学科卒の工藤です。太工を卒業してから三十五年以上が過ぎ、気が付いたら夫婦で定年後の人生を話す歳になりました。とわいえ、子供にはまだまだお金がかかり、細くつたスネをかじられ続けています。

今回は、何をお話ししたらよいか悩みましたが、会計をやらせていただいていますので、皆さん興味のあると思います。同窓会費の収支について簡単に説明致します。収入は、卒業生から永年会費を同窓会入会時に頂いており、金額は一ヶ月分の学費と同等の金額です。同窓会員からは、永年会費をいただいておりますので毎年の同窓会費は頂いておりません。支出は、おまかに四項目に分けられ、同窓会員／卒業生／在校生／その他で有効に使われます。同窓会員の皆様には、同窓会ホームページの保守費用と三年に一回の同窓会報に使います。同窓会ホームページには、同窓会実行委員会の活動や過去の同窓会報の他、会員皆様の思い出の記事や、同窓会開催の予定や

様子など掲載いたします。是非投稿を宜しくお願い致します。

【ホームページURL

http://www.takou-ob.jp】

卒業生には、卒業証書のホルダー購入に使われます。私のところは、卒業証書と言えは筒のホルダーが定番でしたが、現在は見開き型ホルダーで車検証に似ています。

在校生には、クラブ活動で関東大会などに出場した場合の助成費用として使われます。助成金は、大会出場セレモニーの際に、同窓会からの助成金として正式に渡されています。その他は、記念行事などの準備積立金となります。

創立五十周年記念などの節目の費用補助や、校舎の建て替え時の備品購入、甲子園出場などの費用補助に使われてきました。簡単ではございますが、おまかな同窓会収支の概要です。

最後に、私の長男も、次男も太工に通い、息子達も同窓会員となります。親子共々太工同窓会の仲間として、宜しくお願い致します。

毛里田支部結成に向けて

星野 薫 (1C)



私たちが卒業して四十九年、卒業生の人数も一二〇〇余人と多くの卒業生を我が母校も送り出し

て来しました。一方七期生迄もが定年を迎えるなど歴史を感じる様にもなりました。

大関会長から毛里田地区に同窓会の地区支部を作って欲しいと投げかけられ、今年学校から地区の卒業生名簿を頂きました。頂いた名簿には四二〇名の卒業生が居りましたが、地区ごとの名簿のため、同級生関連性が解りづらい名簿でした。また、名簿は太工高を卒業した時点で毛里田地区に住所を置いた卒業生の名簿ですから、現時点では、職を替えたり、結婚して別な地域へ生活基盤を移した方々も居ります。これらを掌握する為には同級生と云う横の軸が必要であると思ひ名簿の作り替えを行ってみました。結婚をされた方々の多くは地域に在住されますが、まだ比較的若くこれから世帯を持つ卒業生は居住地が毛里田地区とは限らず流動的であります。

現在、太工高同窓会地区支部は十支部の様ですが出来れば何かの機会をとらえて、同窓会組織図の公表と同時に支部役員体制も公表して欲しいと思ひます。今回の話を受け私と年代の比較的近べ近い方々に支部結成に向けた話をして見ましたが残念ながら一向に興味が無く、支部結成は厳しい環境にあります。支部で何をやるのか、必要性はどこにあるのかなど支部結成の指針を打ち出して欲しいと思ひます。菰川地区支部では古くから卒業生同士の友

好な交流が行われている様ですが、その活動内容こそ同窓会報で紹介し支部の必要性を卒業生に知らしめて欲しいと思ひます。

また、同窓会の総会に数年来参加してはいますが参加者が極めて少なく総会の疑問さえ感じます。卒業時に同窓会の常任幹事を拝命した方々の参加が少ないのは何故なんでしょうか。同窓会総会は同窓会本部に対して、常任幹事と会員の参加で総会を行う為に卒業年度ごとに常任幹事を配置しているのではないのですか。従って、常任幹事は総会への参加義務者であり、高い出席率を求めたいです。

そして支部を結成する以上、地区支部の役員は総会参加義務者として周知して欲しいと思ひます。

地区支部は、地区の同窓生としての繋がりを示すだけでなく太工高同窓会員としての友情と役割が感じられる組織であつて欲しいと感じつつ毛里田地区支部結成に向け厳しい環境の中、行動してみたいと思ひますので毛里田地区卒業生で毛里田地区に居住されている皆さんご協力を宜しくお願いいたします。

〔太田市富若町在住〕



太工スケート部 OB会に向けて

川島 栄喜(6M)



旧職員である元スケート部顧問の中里先生の、お力を借りOB会を、立ち上げを行っていきます。そのきっかけは、本校電子機械科平成二十年卒業の、坂爪亮介さんが、本年日本ショートトラックスケート選手権大会に、おきまして総合優勝をされ、世界ショートトラックスケート選手権大会において一五〇〇mで四位に入賞する活躍をし、二〇一四年ロシアソチで開催されます冬季オリンピックに選考されます事を支援いたしたく、この程スケート部OB会を進行しています。太田工業高校スケート部OBの親睦をはかる目的です。寒い冬に手を震わせ、スケート靴を履いたり、氷の上でレース中に転倒腰を打ち立ち上がれなかった事、練習を腰が痛い、さぼった事も、今では楽しい事です。

太田スケート部OBの方々、昔を思い出し、多めに語ろうではありませんか。

私くし川島は、こりもせずまだ、健康維持、体力の向上を目指し、スケートを滑り、大会に出場、子供達の指導

を行っていきます。

現在、在学中太田工生、高橋七星さんも、本年度のインターハイ出場予定でOBの川島と共に、スケートの練習を行っていきます。応援よろしくお願いいたします。

最後に、太田工業高校OBの皆様の、ご健勝と、ご活躍をご祈念申し上げます。

9 M小林武司さん、12 E亀井真司さん、12 C成家雅夫さん、16 M柿沼康修さん、21 M長谷川康則さん、21 M高井克昌さん、旧職員中里昌明様、よろしくお願ひ申し上げます。



五十代になり

小林 貴(15E)

三角屋根の体育館が特徴の内ヶ島の校舎を卒業し、月日の経つのは早いもので三十年たった。

会社に入り、当時五十過ぎの先輩を見ると、とてもおじさんに見えた。まさにその年代に突入してしまった。

気持ちは若いと思っではいるものの、体は正直である。頭髮は白いものが見え始め、老眼鏡をしないと、小さい文字が全くみえないのである。また、一つのを覚えようとすると、今まで覚えていたものを二つぐらい平気で忘れてしまう。人の名前もなかなか思い出せない。まったく、困ったものだ。

あと最近変わったと思うものは、食べ物である。今までは、一日一回は肉料理を食べないと我慢できなかったが、二〜三日食べなくても、全く平気になってしまった。健康を考えると、ちょっと遅かったがよいことみたいである。自分たちが入社したころは、定年退職が六十歳であった。現在は六十歳で一旦定年となる。それ以降は一年契約で最高六十五歳まで働ける。

入社した時の平均寿命は七十四歳位で現在は七十九歳にもなっている。寿命が延びたから働くのではない、年金がもらえないのである。さすがに、退

職金だけでは先行き不安である。

本当は、六十で退職後は、家庭菜園でもしながらのんびりと暮らしたいものである。旅行も好きなので、こちらものんびりと時間を気にせずにあちこち見て回りたい。工業在学中に取得したアマチュア無線も再開したい。いつ再開してもいいように、免許状も五年ごとに必ず書き換えていく。とにかく、今の仕事時間が追われている仕事だけに時間を気にせずに余暇を楽しみたいものである。

最後に、これから定年まで数年あるが、やり残しがないよう今の時代を精一杯生きてゆきたい。



進路指導部 12月2日現在の中間報告

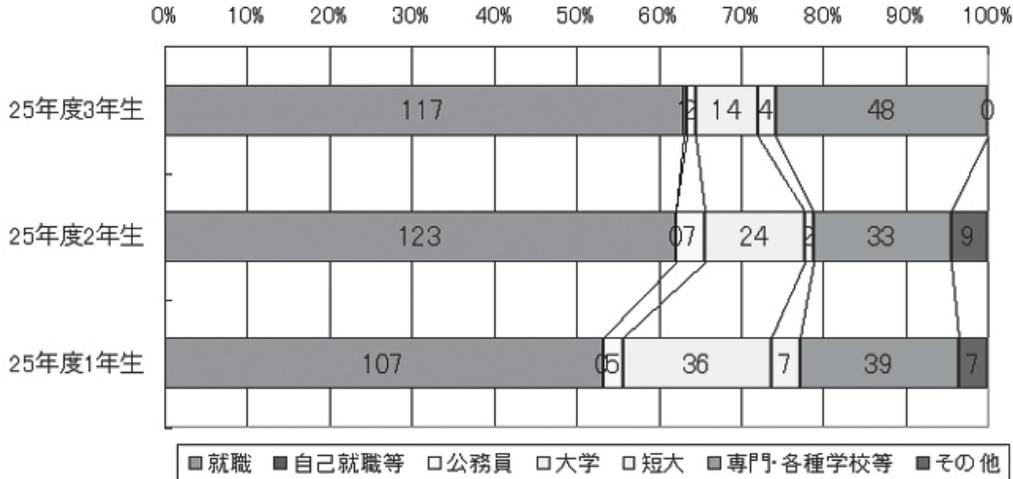
1. 平成25年度 3年生の進路決定状況

	県内就職	県外就職	4年制大学	短期大学	専門各種学校	未定	合計
希望者数	97	22	14	4	48	1	186
合格・内定	95	21	12	4	47	0	179
合格率%	97.9%	95.5%	85.7%	100.0%	97.9%	0.0%	96.2%

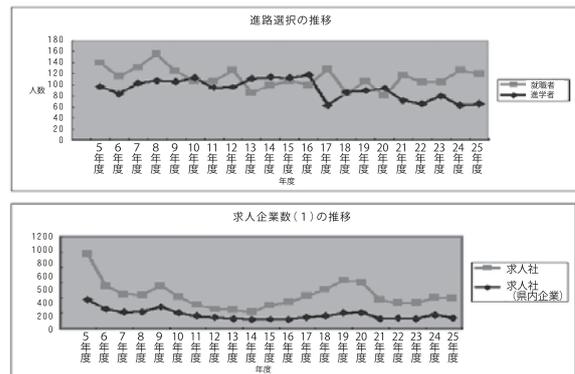
2. 平成25年度 本校への求人状況

職安管轄	企業数	前年度比	職種数	前年度比	本校求人数	前年度比
太田市内	63	64.3%	80	71.4%	113	80.7%
県内	79	97.5%	91	92.9%	111	100.9%
県内計	142	79.3%	171	81.4%	224	89.6%
県外計	259	115.1%	323	117.9%	338	121.1%
合計	401	99.3%	494	102.1%	562	106.2%

3. 現2年生、1年生の進路希望状況



4. 過去からの求人企業数・進路選択の推移



編集後記

寒い日が続きますが、会員のみなさまは如何お過ごしでしょうか。
 多くの方に支えを頂き、今年度の卒業生が五十期生となり、会員総数は、約二、〇〇〇名となります。今後とも会員のみなさま方のご協力をよろしくお願ひ申し上げます。
 最後にりますが、原稿を頂きました先生方や同窓会員のみなさま方に厚く御礼申し上げます。
 (吉田記)